

1. はじめに

国道 273 号沿いの糠平市街地の中心に糠平温泉郷があります。ここの「中村屋」に友人 3 人で泊まりました。今回は「中村屋」の紹介とともにこの旅で経験した貴重な出来事をご紹介します。

2. 温泉

糠平温泉郷はすべて源泉掛け流しです。私がこれまで 3 回泊まった糠平温泉郷ではすべて源泉掛け流しでした。無色透明で無味無臭、とってもさらっとしたお湯です。温泉場の成分表では、ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩温泉－中性低張性高温泉(旧元重曹－食塩泉)、pH は 7.34、お湯の温度は 54.1℃です。

3. 中村屋

温泉施設の中村屋は少し変わっていて、いろいろなところに手作り感が満載です。きっと本当に手作りのなんでしょう。夕食のときの食前酒は、手作りの果実酒で、かなりいい感じに漬かっていました。お食事も地場のものをふんだんに使っていました。温泉の内湯は、夜と朝で男女交代です。露天風呂もありますが、男女混浴で(女性専用の時間帯もあります)、これに入ってみました。お風呂入り口に頭に直接かぶる傘があって何に使うのかなと思っていたら、雨が降ったときかぶるもので頭がぬれなくてちょうどいい感じです(図-1)。



図-1 頭に直接かぶる笠(イメージ)

また、お風呂に棒があり、その棒でスイッチを押すと真っ暗になりますが、同時に満天の星が見えます。かなり感動でした。

中村屋には湯めぐり手形なるものがあり、他の温泉施設に入ることができます。私たちは近くの「湯元館」に行きました。きれいなホテルでお湯も最高でした。ホテルに宿泊しない方は温泉公園の中に足湯がありますのでお楽しみください。

4. ハプニング

せっかく糠平に来たので、糠平川橋梁を見る会(勝手に作りました)に参加しました。最も有名なのは写真に示すタウシュベツ橋梁かと思います。この橋は季節によっては糠平湖に沈んでいますので、今回は見ることはできなかったのですが、別の橋を見に行くことにしました。

途中タイヤの音が変わってきたので、停車しました。降りてみると、写真-2のようにタイヤがちゃんと車の横にありました(こんなことってある?)。この付近は携帯不通区間でしたので携帯が通じるところまでつれてってくれる人を探しました。



写真-1 タウシュベツ橋梁



写真-2 タイヤ

た。数台の車が通り過ぎて行ったあと、なんとか車が停まってくれました。この人は中村屋に宿泊していて、昨日の夜の食事のとき、私たちがとても楽しそうにしていたので覚えていたそうです。知らない人なら通り過ぎたそうです。

中村屋までつれていっていただき、修理屋に連絡を取り、今度は女将さんに現場までつれていただきました。現場に着くと、糠平付近の狩猟パトロールをしている人が対応してくれていました。ナットがなくなったら、他の3本のタイヤのナットを1本ずつ外し、外れたタイヤを3本のナットで締めて、とりあえず修理してもらえるところまで車を移動すると良いことを教えてくれました(なるほど)。

そんな話をしていると女将さんが、何か光るものがあるから見てくる！といって、そしてなんと4本のナットを見つけてくれました。

あとで専門の人に聞いたところ、トラックでは締まる方向にナットは回転するけど、乗用車は左側のタイヤは緩む方向にナットが回ると教えてくれました。確かに外れたのは助手席側のタイヤでした。

5. おわりに

温泉のことを紹介したくて原稿を書きましたが、温泉の写真の一つも撮ってなく、糠平川橋梁の写真もたくさん撮ったはずなのに、ほとんど草に覆われていて、さらに、このハプニングのことが書きたくなって、題名と内容があまり一致しなくなっていました。

しかし、この旅でわかったことをまとめます。

- ①旅は心の底から楽しみ、その雰囲気を周囲の人に伝わるようにすること(親切な人が助けてくれる)。
- ②タイヤが外れたときはとりあえず3本のナットでタイヤを取り付けること。

謝辞

この出来事でお世話になった、車に乗せてくれたお兄さん、中村屋の女将さん、狩猟パトロールのおじさん、大変ありがとうございました。

佐藤 厚子(さとう あつこ)
技術士(建設/総合技術監理部門)

